

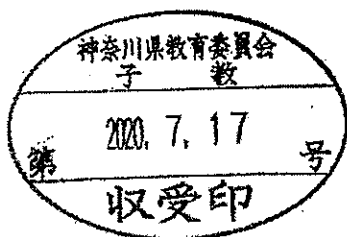
神奈川県内の教科書採択 に関する県民署名

署名総数

6,252 枚

28,854 筆

神奈川の教科書・採択問題にとりくむ会



神奈川県内の教科書採択に関する県民署名

○小中学校の教員は、授業で使う教科書を自分で選べないの？

小中学校の教科書採択においては現在、子どもたちにとってどの教科書が望ましいかについて、教員や保護者が意見や希望を直接反映させることが困難になっています。その結果、一部の市では教科書取扱審議会の答申とは異なった教科書や、教員や市民の皆さんから多くの問題点が指摘されている教科書を採択するという事態が起きています。

○高校の教科書採択はどうなっているの？

2013年から2016年まで、検定を経て『目録』に掲載されているにもかかわらず、日本史の2冊の教科書の選定と採択が、県教委によって実質的に排除されました。

高校の教科書は、「学校教育目標及び各教科の指導目標に基づいて十分に教科用図書の研究を行い、生徒、学校及び地域の実情を考慮して採択する」とした「使用教科用図書採択方針」に則り、各学校の公正な選定によって県教委が採択しなければなりません。

○巨大採択地区は、地域性や子どもたちの実情にかなった教科書採択に結びつかない！

文科省通知等で示されている、採択地区の小規模化をめざす考え方とは逆行する教科書採択地区の統合が横浜や川崎で行われています。地域性や子どもたちの実情に即したきめ細かい教育を行うために、教科書採択の地区は、細分化されなければなりません。

要望項目

1. 学校現場の教職員や保護者の意見が反映された教科書採択となるよう、市町村教育委員会にはたらきかけること。
2. 県立高校の教科書採択については、各学校における使用希望教科書の公正な選定を保障すること。
3. 横浜市、川崎市に見られる教科書採択地区の統合は、国の方針に反するものであり、細分化するよう各教育委員会にはたらきかけること。

2020年6月

神奈川県教育委員会教育長 様

名 前	住 所

※ 記載された名前・住所は、目的以外には使用しません。

取扱団体：神奈川の教科書・採択問題にとりくむ会

【かながわ歴史教育を考える市民の会・神奈川人権センター・部落解放神奈川県共闘会議・神奈川平和運動センター】

送付先：横浜教科書採択連絡会